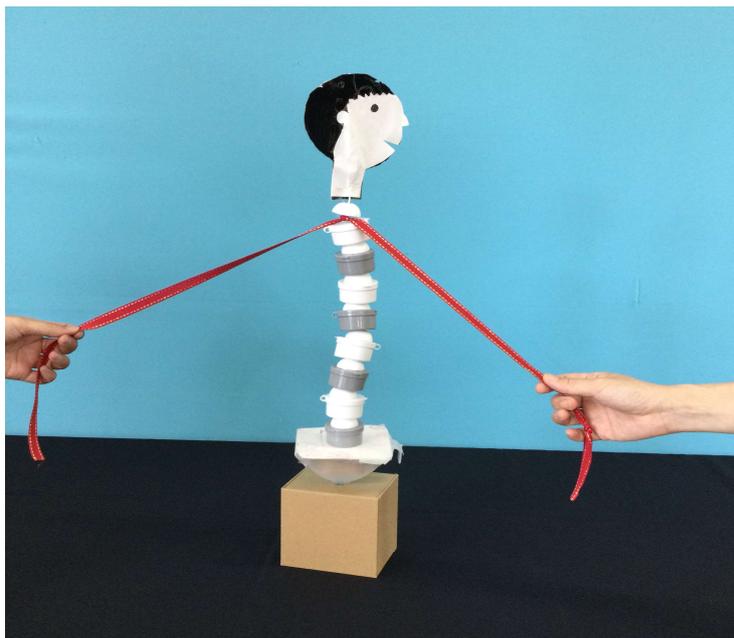


教材教具名	ほねほね君	分類	授業	
		対象授業等 (内容) (学部)	体力づくり	地域の小学校
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> よい姿勢を保つために、腹筋と背筋を使っていることを理解する。 			

教材教具の概要



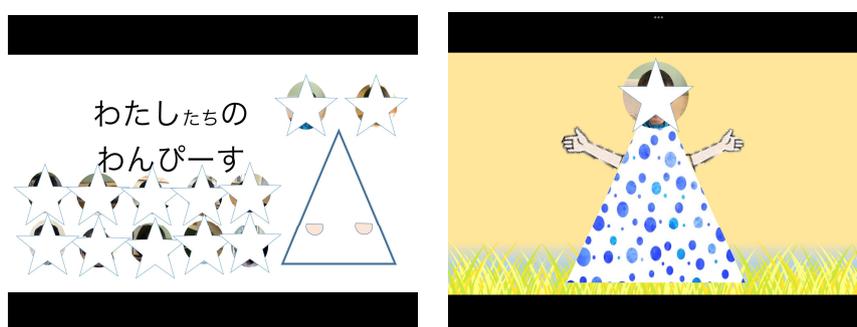
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢に関する授業の中で使用する。リボンが腹筋と背筋に見立てる説明をする。 ①一本のリボンを引くだけでは姿勢が曲がることを体験する。②2本を対角線上に引くことで姿勢を保つことを体験する。
材料	<ul style="list-style-type: none"> 調味料タッパー、半円の発泡スチロール、針金、ボール紙、リボン、箱、漏斗
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> 背骨が曲がる様子がイメージしやすいように作成した。

使ってみてよかったところ、効果等

- 地域の小学生向け姿勢の研修にて使用した。やってみることで腹筋が姿勢保持に関係している事の理解ができたようだった。

教材教具名	わたしのワンピース 追体験映像	分類	授業	
		対象授業等 (内容) (学部)	音楽	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本の内容を思い出しながら追体験することができる。 ・ 音楽に合わせて移り変わる映像に注目して鑑賞できる。 ・ 天気や模様などの概念の基礎となる言葉と映像を認知する。 			

教材教具の概要



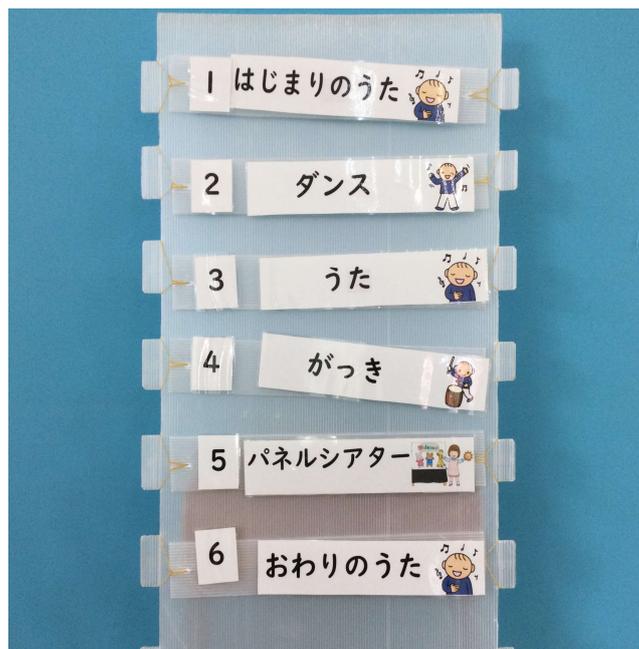
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本のお話の内容に沿った歌を聴きながら、テレビに映し出し、展開に注目しながら鑑賞する。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットのkeynote
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスの児童全員が順番に出てくることで、期待感を持たせる。 ・ 敢えて絵本とは違うイメージの柄や風景を使用することで、多様な柄の体験が可能になる。 ・ 元の絵本が苦手な児童が授業参加できるよう、陰影のはっきりした図形を使用した。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 1年生から読んできた絵本の追体験をすることで、期待感を持って注目することができた。
- ・ 元の絵本が苦手な児童が授業参加できなかった児童が、参加できるようになり、絵本も読めるようになった。

教材教具名	授業の流れボード	分類	授業	
		対象授業等 (内容) (学部)	音楽	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習内容が分かる。 ・ 見通しを持って、学習に取り組む。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の授業の流れを、授業の始まりに見せて確認する。 ・ 内容が一つ終わったら、カードを裏返す。常に見える所に置いて、確認できるようにする。 ・ 授業の最後にやることが全て終わったことを、ボードを見せて確認する。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラ段、輪ゴム、授業の内容カード(印刷し、ラミネートしたもの)、養生テープ
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ イラストと文字で内容を分かりやすく示した。 ・ カードを裏返すことで、カードの置き場に困らないようにした。 ・ 椅子等に立てかけられるようにし、黒板等がない場所でも使用できるようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ イラストを示すことで、内容が分かり見通しを持って取り組める場面が増えた。
- ・ 授業の途中で気持ちが他のことに向いてしまった子どもに、サブティーチャーが「次は〇〇だよ」等の声掛けをして確認することができた。

教材教具名	星空シート	分類	授業		
		対象授業等 (内容) (学部)	自立活動	音楽	生活
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 床やマットの上に寝転び、リラックスする。 ・ 身体の力を抜くことができる。 				

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 床に布の大きさより少し狭い幅になるようにテープで印をつける。または、マットを敷く。 ・ 床またはマットの上に寝転ぶ。オルゴール曲などをかける。 ・ テープの印の外側に立ち、寝転んだ子どもたちの上でシートを広げて持って上下左右前後に動かす。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな布、フェルト、布用ボンド
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 星空をイメージして黒い布にカラフルなフェルトで星型を貼った。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 上向きに寝転ぶことができなかつた子どもが、星が動く様子を見るために寝転ぶことができた。

教材教具名	焚き木(箱)積み	分類	授業	
		対象授業等 (内容) (学部)	生活	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 焚き木(箱)を2人で運び、積むことができる。 ・ 焚き木(箱)の数を数えることができる。 ・ グループごとに積んだ焚き木(箱)の数の大小比較をすることができる。 			

教材教具の概要



1～6までの数字の大小比較カード

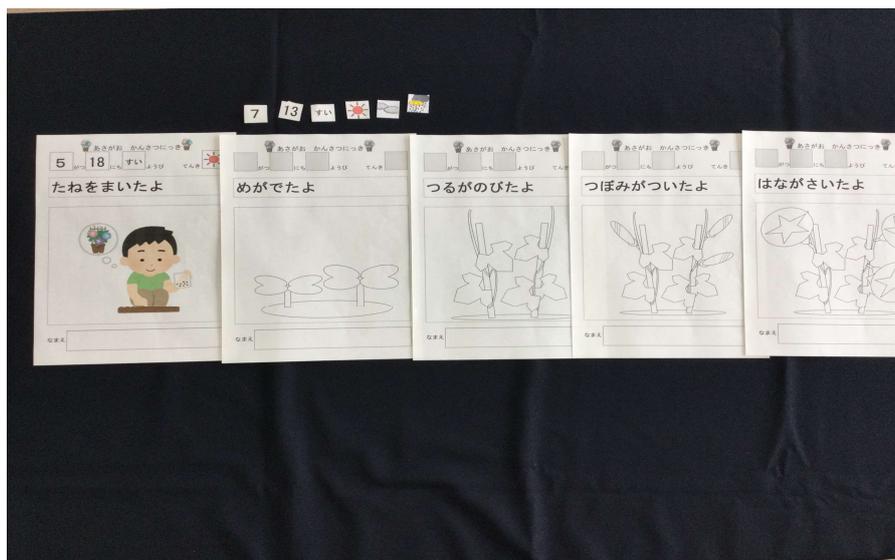
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 焚き木(箱)に取り付けられた取手部分を持ち、運ぶ。積まれた焚き木(箱)に数字カードを貼る。 ・ グループごとに積まれた焚き木(箱)の数の数字カードの長さを比べ、大小比較する。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 焚き木(箱)→段ボール、ぶつかり防止クッション(取手用)、ペットボトル、マジックテープ、1～6までの数字の大小比較カード→マグネットシート、ラミネートフィルム、ホワイトボード
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 焚き木(箱)に重みが出るよう、箱の中に水の入ったペットボトルを取り付けた。持ち手が分かるよう、クッション材を取り付けた。 ・ 数字の大小が視覚的に理解できるように、数字によってカードの長さを変えた。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 友達と協力して運ぶ姿がみられた。
- ・ 数字の大小がカードの長さで確認することができた。

教材教具名	あさがお観察日記	分類	授業	
		対象授業等 (内容) (学部)	生活	小学部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日付や天気がわかる。 ・ あさがおの葉の色や土の色を知る。 ・ 図を意識して色を塗ることができる。 			

教材教具の概要



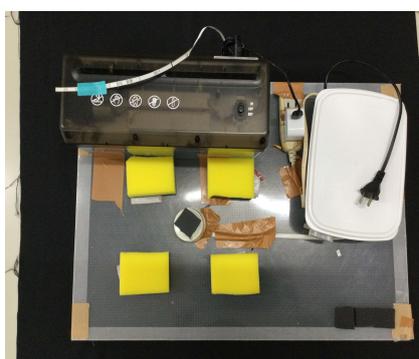
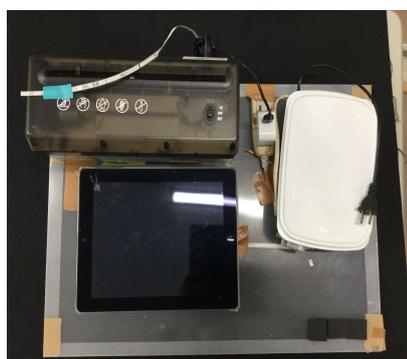
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日付の枠に日付をシールを貼ったり、天気を選んで貼ったりする。 ・ あさがおの様子をみんなで観察し、葉や花の色や土の色を確認し色を塗っていく。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両面テープ、用紙
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単な図を組み合わせ、シンプルな絵にしたところ。 ・ 日付や天気が難しい子どもにはシール形式にして作成できるようにしたところ。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 図の枠や色を意識して塗る様子が見られた。

教材教具名	タイマー式スイッチ	分類	授業		
		対象授業等 (内容) (学部)	職業	校内実習	個別課題
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ スイッチ操作で一定の時間機器を作動させる。 ・ 動作機器を音楽鑑賞、動画視聴、作業器具、玩具などにより主体的な活動を促す。 ・ 一定の時間で動作が止まることで、再度スイッチ操作を促し、自発的操作を促す。 		高等部		

教材教具の概要



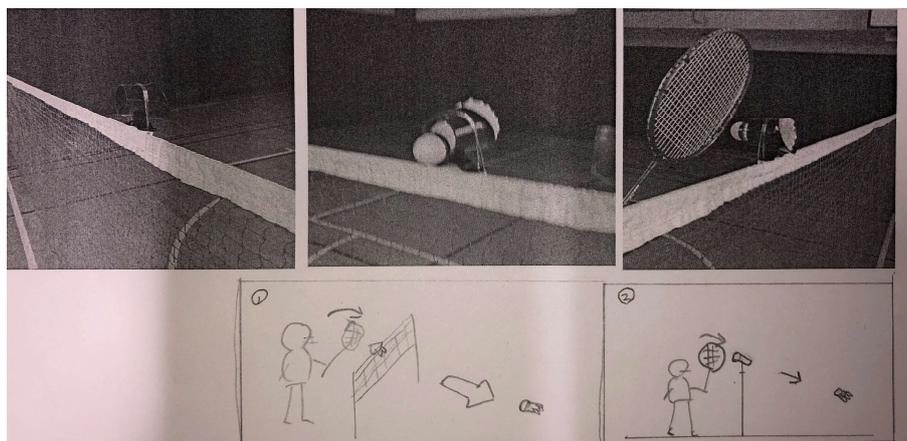
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押しボタンスイッチに子どもが操作しやすい物を付ける。(ipad等を載せてもよい)。 ・ 盤上のコンセントに動作させたい機器をスイッチオン状態で接続しておく。 ・ タイマーのダイヤルで動作させたい時間を設定する。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウレタンマット、アクリル板、ACコンセントタップ、押しボタンスイッチ、スポンジ、銅線、スイッチングタイマー(OMRON H3CR-A)、動作機器(電動シュレッダー、ラジカセ)
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味・関心のあることに対して主体的な動きを促す課題設定の補助機器として考案した。 ・ 課題学習や作業学習で題材設定が難しい生徒に、簡単な操作で一定の時間好きなことや作業ができるようにタイマー設定で一定の時間機器が動作するようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 主体的に作業学習に取り組むことが難しい子どもが、ipadのアプリで画面にてのひらを載せる動きによりスイッチが入るようにすることで、アプリの効果音を楽しむ行動を、電動シュレッダーでチラシを裁断する作業に結びつけることができた。

教材教具名	上から打とう！	分類	授業	
		対象授業等 (内容) (学部)	体育	高等部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャトルを見て打つことができる。 ・ シャトルを上から下に打ち下ろすことができる。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットに本体をかけて、シャトルを装填する。 ・ 子どもがシャトルを打ったら、次のシャトルを装填して打つを繰り返す。
材料	
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 角度をある程度調節できる。 ・ 黒のカバーを使うことで白のシャトル(コルク)との対比から、より見やすくなった。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 子どもがシャトルを見てラケットを振り下ろせるようになった。
- ・ 慣れてくるに従い、勢いよく振れる子どもが増えた。

教材教具名	ステンドグラス風 かさと雨	分類	授業	
		対象授業等 (内容) (学部)	美術	高等部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ はさみを安全に扱いながら、線に沿って画用紙を切ることができる。 ・ 自分で配色を考えながら、作品を制作することができる。 ・ 光が透けるカラーセロハンの素材の変化を味わう。 			

教材教具の概要



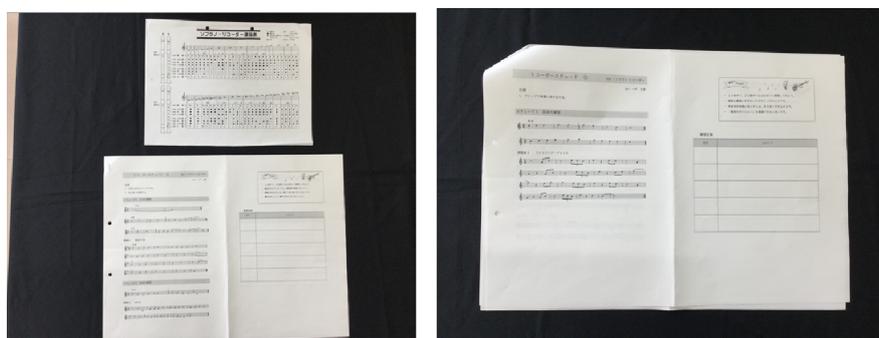
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書を参考にしながら制作を進める。 ・ 制作の見通しを持つ。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色画用紙、カラーセロハン、ラミネートフィルム、ラミネーター、スプレーのり、はさみ
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作中にやり直しができるように、ラミネートフィルムに事前にスプレーのりを吹きかけておいた。 ・ 簡単に貼り直しができ、画用紙やカラーセロハンがずれる心配がないため、ストレスがなく取り組める。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ スプレーのりのおかげで貼り直しや、ずれないようにできたため、生徒が自主的に取り組めた。
- ・ ラミネートフィルムやカラーセロハン等、普段は扱わない素材に触れることで興味関心を持つことができた。
- ・ 実態の幅があっても、配置や配色等で工夫がしやすく、それぞれの実態に合わせた達成感を得られた。

教材教具名	リコーダーエチュード (ソプラノ)	分類	授業	
		対象授業等 (内容) (学部)	音楽	高等部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽譜を見て、リコーダーを演奏することができる。 ・ 指の使い方、息のコントロールを意識してリコーダー演奏をすることができる。 ・ 自分ができるところを増やすチャレンジをすることができる。 			

教材教具の概要



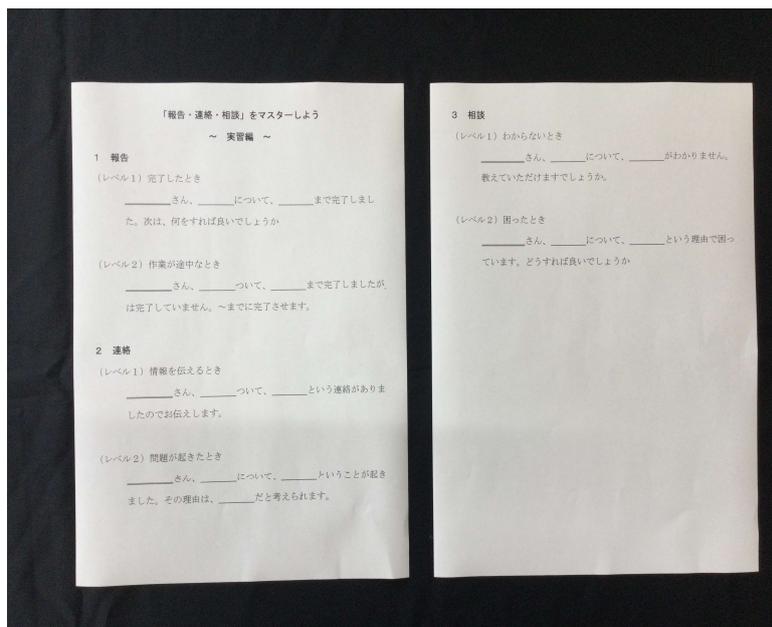
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ リコーダーの運指表も合わせて配付し、課題を一つずつ進める。 ・ 個人で進めるだけでなく、クラスメイト、教員の助けを受けながら進めてもよい。 ・ 音楽担当教員に課題のチェックを受けたら、練習記録を記入してもらおう。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽譜作成ソフトと文章作成ソフトを使って作成。
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題は左手のみ→両手を使って→サミング(裏側の穴に少しすきまを作り1オクターブ高い音を出す)と順番に難しくなるように設定。 ・ なるべく生徒が自分だけで進められるように、A3ですべての情報が収まるように配置。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 自分で楽譜を見て、自分の力で進められる生徒が増えた。
- ・ 自分だけで進められる生徒が増えたことで、音楽担当教員が個々の生徒の進捗状況を把握し、それぞれにアドバイスをを行う時間が増えた。

教材教具名	報告・連絡・相談ワークシート (実習用)	分類	授業	
		対象授業等 (内容) (学部)	校内実習	現場実習 高等部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告、連絡、相談を行うための文例を理解すること。 ・ 実際に声に出して、報告、連絡、相談の練習をすること。 ・ 報告、連絡、相談する際に適した声量について理解すること。 			

教材教具の概要



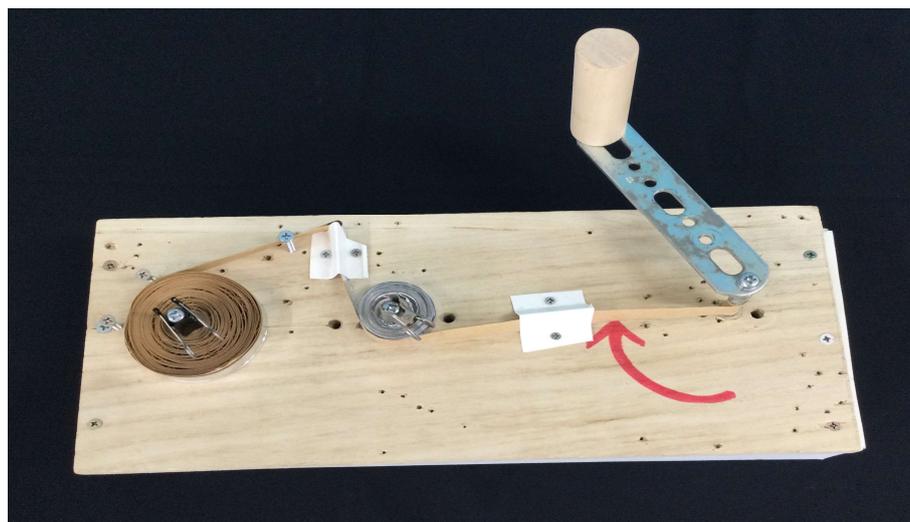
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ スライドをもって場面を理解させた上で、文例を基に教員が手本を見せる。 ・ 生徒同士をペアにし、文例を基に報告、連絡、相談を実際に声に出して行わせる。 ・ 報告、連絡、相談それぞれでレベル1及びレベル2の課題があるので、レベル1をクリアできればレベル2に取り組む。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ パワーポイント、プリント
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告、連絡、相談の行い方を具体的な例文で示したこと。 ・ 課題にレベル付けを行い、理解度や進度に合わせて、内容を組み立てられるような内容としたこと。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・ 報告、連絡、相談の違いをはっきりと伝えることができ、生徒も理解しやすかった。
- ・ 報告、連絡、相談の基礎を学び行う機会を設けることができ、その後の実習でのコミュニケーションが円滑になった。
- ・ 適切な声量についても、考える機会を設けることができた。

教材教具名	アルミ巻き取り機	分類	授業	
		対象授業等 (内容) (学部)	校内実習	高等部
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミはがし作業(アルミと紙を分別する作業)を、レバーを回す操作で行う。 			

教材教具の概要



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が、アルミのテープをセットする。レバーを回転させてアルミを台紙からはがす。
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・木材、プレート、ネジ、ボルト、ナット、リング、牛乳パック、クリップ
工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミの粘着面を外に向け、粘着力で巻き取れるようにした。

使ってみてよかったところ、効果等

- ・はがし作業が難しい又はモチベーションが持ちづらい生徒が、回転させるという操作で作業を進めることができた。